

# 大名みえ子です

〒319-1112 東海村村松 2401-2  
電話・FAX 029-284-0761  
E-mail toukai@oona-mieko.info

## 村内の産廃破碎・分別・焼却事業者を訪問



産業廃棄物の保管設備	
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類、がれき類、ゴムくず、金属くず、紙くず、ガラスくず、コンクリートくず、および陶磁器くず、木くず、繊維くず
管理者名	株式会社東海クリーン 川野 秀俊 連絡先 029-229-1611
保管の高さ	2.0 m
保管数量	476.0 m <sup>3</sup>

  

一般廃棄物の保管設備	
一般廃棄物の種類	可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ
管理者名	株式会社東海クリーン 川野 秀俊 連絡先 029-229-1611
保管の高さ	2.0 m
保管数量	476.0 m <sup>3</sup>

6月5日、平原南部工業団地でこの3月から操業の(株)東海クリーンを訪れ、事業概要をお聞きし施設内の見学をさせていただきました。7、8分毎に1回、200キロを投入し燃やすそうです。水は、地下水が極少量なため現在は上水道を使用。今後約4,000万円をかけて県の工業用水を引く予定とのこと。産廃と一般廃棄物も取り扱っていました。

この日は設備の点検日だそうで、稼働していませんでした。



右写真のように、稼働は24時間です。また気象状況

によっては蒸気が分散し下にも流れることがわかります。

裁判になっている大豊プラントが、自らの焼却炉は「1次燃焼室で2次燃焼が起きる」と主張していることに対し、東海クリーンは「空気を入れると温度が下がるので2次燃焼室に空気を入れることは考えられない」と、驚いていました。

## 照沼小学校が、来年度から学区外就学が可能な特認校に

【教育委員会の説明から】 照沼小は現在の児童数89名により、きめ細かな学習指導や活躍の機会を多く設定できる、教材も余裕をもって使用できるなど個別学習の成果をあげることができる良さがある。

一方、全学年1クラスということもあり、切磋琢磨する機会が少なくなりやすい。学区内のとうかい村松宿こども園は、従来より照沼小学校との間で農業体験など交流が行われている。

従来の照沼小学校区は残したまま、学区外からも就学を特別に認める制度（特認校制）を導入する。

### 【6月議会一般質問から要約してのご報告】 ◇文化センターホールの空調設備対策を

**大名** 空調設備が起動に時間がかかる、温度調節ができない等で、映画やコンサート等適度な環境での鑑賞が難しい。空調借用料を払う催事者にとっても、チケットを購入しての鑑賞客に対しても問題がある。

**教育次長** 温度調整がしにくい空調のため、センター職員が早出してボイラーを起動するなど工夫は行っているものの快適な利用環境の確保が課題である。年間40,000人を超える村内外の利用がある集客施設のため、空調設備の抜本的な改善策を講じる必要があると認識している。まずは当面の改善策を早急に検討する。

**大名** 当面の改善策の一例として、寒さ対策としてブランケットの無料貸出などが考えられるがどうか。

**建設農政部長** 文化センター利用者に快適な環境を提供できるよう、ブランケット貸出も含め、当面の改善策について対応する。